

宮城県庁で ユニセフ写真パネル展開催中

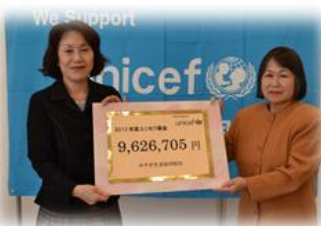


今年みんな
3歳になりました

例年宮城県と共催で開催している「子どもの権利を守るパネル展」で、ユニセフの写真パネル展示を開催しています。4月21日(月)～5月9日(金)まで、青葉区本町の宮城県庁1階ロビーにて。宮城県子育て支援課からは「子育て支援を進める県民運動」パネルを、ユニセフからは「ユニセフによる戦後日本の子どもたちへの支援」、「ハッピー・バースデー 3・11～あの日、被災地で生まれた11人の子どもたちと家族の物語」を展示しています。第二次世界大戦後、ユニセフが日本の子どもたちを支援しました。支援物資の粉ミルクや原綿が届き、給食や衣料が提供され喜び子どもたちの姿、ユニセフの支援に感謝する会を催している風景、乳児健診など医療面の支援など、今につながるユニセフの自立をめざした支援の様子が伝わります。また、3年前の3月11日に誕生した赤ちゃんの写真の数々は、命の大切さと未来への希望を伝えると同時に、その瞳にうつるこれからの日本を、私たちみんなが考えなければと訴えています。土日、祝日は休館ですが、ぜひ大勢の方々に見ていただきたい写真展です。

募金贈呈式

■4月11日、みやぎ生協から2013年度の募金の贈呈がありました。フィリピン台風緊急募金の贈呈はすでに実施しましたので、残りの960万円の募金贈呈です。組合員活動の中心を担っている“エリアリーダー”全体会の席上、みやぎ生協沼倉優子副理事長から清水専務理事へ目録が手渡されました。こ～び委員会での継続的な活動に感謝いたします。



■4月18日、松島町国際交流協会からフィリピン台風緊急募金13万円余をお預かりしました。高橋会長と桜井副会長が県協会においてになり、五十嵐が受け取りました。フィリピンの被災した子どもたちの長期的な支援に使わせていただきます。



(写真は桜井副会長)

ユニセフのポスター&メッセージ

みやぎ生協南小泉店のインフォメーションボードに今年のユニセフのポスター、アグネス大使からのメッセージ、県協会からの感謝状が掲示されています。メンバー活動のお知らせをするコーナーが店舗内に確保されており、来店メンバーにそのときどきの情報を的確に発信しています。ほかの店舗でも掲示されているかもしれません。店内の掲示板にご注目ください。



↑ <アグネス大使からのメッセージ>

『北海道ユニセフ協会 20周年記念式典』に参加しました ～講演会・記念式典・祝賀会～

4月20日、ホテルライフポート札幌にて開催され、福島、兵庫の県協会事務局長とともに参加しました。日本ユニセフ協会からは東郷副会長が来賓としてあいさつされました。講演会は「地球のステージ～世界の子どもたちの現状と東日本大震災のその後」で参加者の感動を呼び、一瞬にして国際理解が深まったようです。記念式典と祝賀会では、北海道におけるユニセフ協力活動の深さと広さを感じました。多くの方が草の根運動としてユニセフに関わってこられました。宮城県ユニセフ協会は来年が20周年にあたります。何か記念になることを考えなければ。

宮城県ユニセフ協会 〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協ウイズ1F

Tel 022-218-5358 Fax 022-218-5945 E-mail sn.municef_miyagi@todock.jp

新しい情報はホームページが便利です <http://www.unicef-miyagi.gr.jp>

事務所: 月曜日～金曜日

10:00～17:00

上記以外 070-6617-6284(五十嵐栄子)